

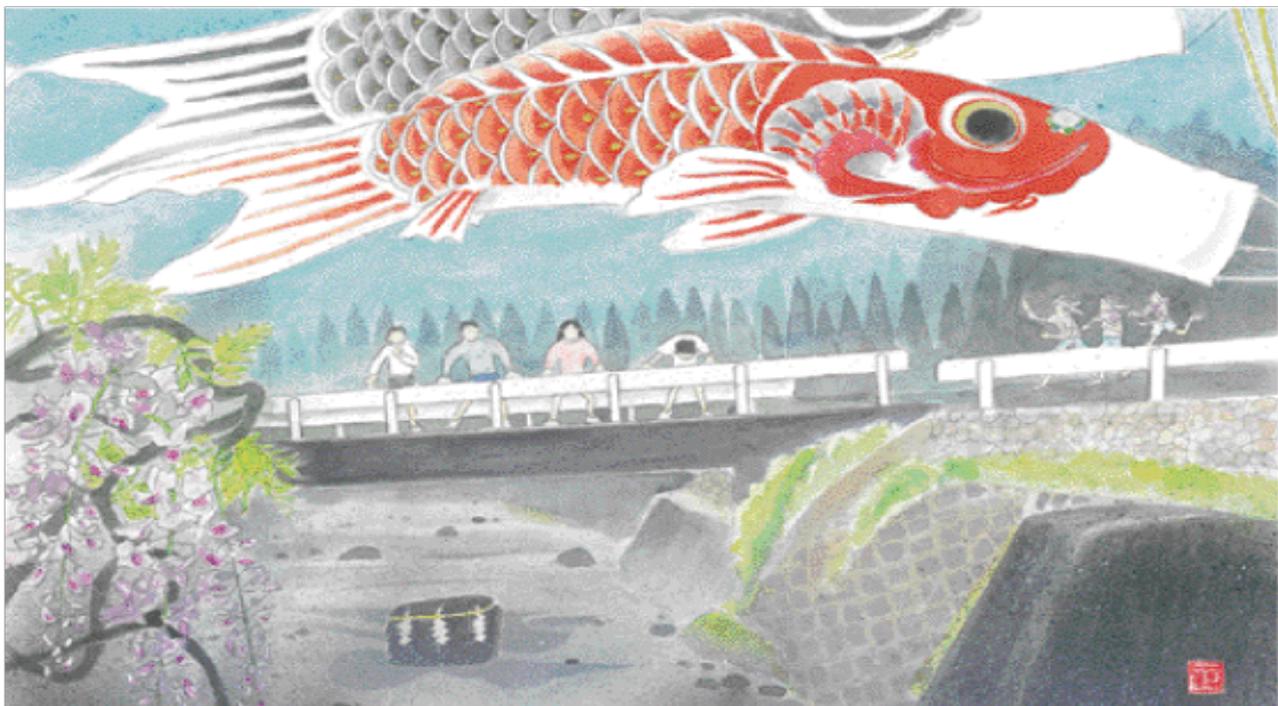


議会だより

おやま 町議会

No.110

- 3月定例会 平成19年度予算を承認……………2~3
- 議会委員会条例の改正……………4
- 常任委員会の報告……………5
- 一般質問 8人が登壇……………6~13
- 行政視察報告……………14
- 編集後記……………14



絵：大眞正之

おやまの橋 ————— 夜泣き石とともに ————— 「天神橋」

大胡田天神社前を流れる立沢川に天神橋は架かっている。現在、天神社前にある「夜泣き石」は、上の絵のように以前は橋のたもとにありました。

現在の橋は、昭和47年の道路改良工事の際に架け替えられたもので、長さ11m、幅員3.5mです。

※「夜泣き石」の説明を、14ページに掲載しました。

3月定例会 平成19年度予算総額

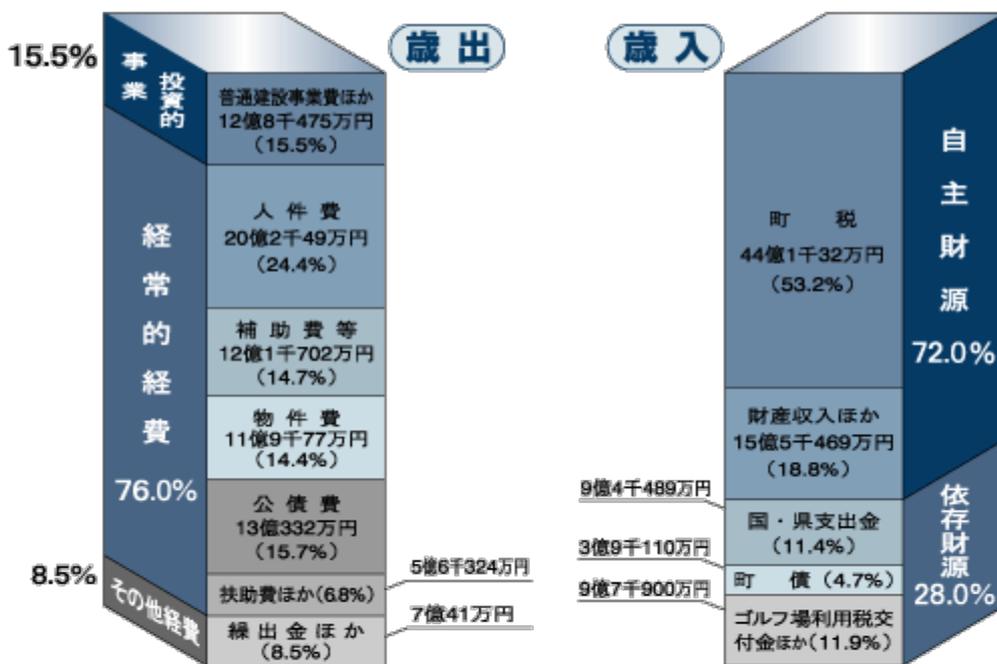
141億9百万円となる

——前年比9億4百万円の増額——

平成19年度第2回3月定例会が2月27日から3月16日まで、会期を18日間として開催されました。今定例会には当局から、新年度予算や条例の一部改正など28議案と、議員提出の条例など2議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり承認可決しました。

一般会計 歳出合計 82億8千万円

一般会計 歳入合計 82億8千万円



- 町内への事業**
- 湯科区「ミゼン」建設事業 5千160万円
 - 須走まちづくり交付金事業 2億1千284万円
 - 東富士湖野球場周辺整備統合事業 5千831万円
 - 町内巡回バス購入 1千80万円
 - 幼稚園保育園一元化調査 100万円
 - 合併処理浄化槽設置要助事業補助金 2千806万円
 - 地籍調査事業 5千153万円
 - 町道整備事業 3億2千688万円
 - 公共道路整備事業 6千662万円
 - 菅沼地区宅地開発基本計画作成事業 200万円
 - 豊岡公園整備事業 1億2千820万円
 - 町営住宅整備事業 3千526万円
 - 小学校パソコン購入事業 3千47万円
 - 小山中学校改築基本設計 1千500万円
 - 災害復旧事業 794万円

予算審議の内容

Q トヨタ自動車からの寄付金の使途は

A トヨタ自動車から、企業設立70周年記念として、2千万円の寄附金をいたたけることになりました。この内、200万円はF1開催協力会交付金として、残額の1千万円は町道の道路整備に使用いたします。

F1開催に向け 予算を計上

Q F1開催協力会交付金200万円の内容は

A 町として、来場者に歓迎の意を表すため、懸垂幕、

機断幕・のぼり旗等の裝飾に関する経費と、町内小学生がF1を見学する際の引率の経費等です。

協力会の構成員は、商工会と観光協会並びに協力会の趣旨に賛同していただける方です。

Q 既勤人口や雇用機会を増やすため、企業立地推進の誘致活動を、どのように行っているのか

町内巡回バスを 更新

Q 現在運行している巡回バスの状況は

A 平成12年7月から、高齢者用巡回バスとして、毎日町内を巡回しており、走行距離は1日当たり約200km、2月末現在38万kmを超えています。近年は、雨漏り等も生じているために更新するものです。

住民票等の交付 祭日等は 文化会館で

Q 行政改革に伴い、職員を削減し、更に一般行政事務への臨時職員は、原則的には採用しない方針のようですが、住民サービスは低下

しないのか

しないのか

A 職員を削減しているのは事実ですが、平成19年度からは、総合文化会館で祭日・土日について、住民票や印章証明等の交付をはじめ、住民サービスが低下しないように努力していきます。

母子保健事業で 新たな助成制度

Q 不妊治療費の助成及び小・中学生医療費助成の具体的な内容は

A 不妊治療費の内容は、年間10万円を限度に治療費の2分の1を5年間助成します。また、所得制限はなく、保険対象外の治療費も助成します。

小・中学生医療費助成は、入院費及び食事代について助成します。これは、町が県に先駆けて実施するもので、所得制限はありません。

新規事務事業

電子申請システム使用料	33万円
評価替えに伴う土地評価見直し業務の委託	637万円
県議会、町議会及び町長、参議院選挙	2千825万円
F1開催協力会交付金	200万円
富士山世界文化遺産登録推進負担金	190万円
障害児者ライフサポート事業	128万円
障害児者日中一時支援事業委託	314万円
障害者相談支援事業委託	318万円
地域活動支援センター事業委託	1千173万円
後期高齢者システム機器リース料	200万円
小・中学生医療費助成	280万円
不妊治療費助成	50万円
小・中学校AED借上料	48万円
小・中学校特別支援員の配置	148万円
国民文化祭実行委員会交付金	68万円

■各会計予算額

(単位：千円、%)

会計名	本年度	前年度	増減額	伸び率
一般会計	8,280,000	7,890,000	390,000	4.9
国民健康保険特別会計	1,828,000	1,650,000	178,000	10.8
育英奨学会特別会計	3,144	2,621	523	20.0
老人保健特別会計	1,900,000	1,920,000	△ 20,000	△ 1.0
下水道事業特別会計	221,798	226,940	△ 5,142	△ 2.3
土地取得特別会計	361,401	2,577	358,824	13,924.1
介護保険特別会計	1,134,434	1,107,343	27,091	2.4
水道事業会計(収益的支出)	201,522	201,641	△ 119	△ 0.1
水道事業会計(資本的支出)	178,762	203,925	△ 25,163	△ 12.3
合計	14,109,061	13,205,047	904,014	6.8

条例の改正

常任委員会を2つに

工事請負の変更契約

町道足柄三保線道路改良
補装工事について、国土交
通省からの補助金額が確定

したので、議料工を9・75
円延ばして事業の進捗を図
るものです。
これに係る工事費の増額
は、417万5千円で、総額は
6千80万4千円となります。



▲町道足柄三保線の護岸工事

町議会委員会
条例の改正

昨年12月議会におい
て、議員定数を18人が
5人へ削減したこと
に伴い、常任委員会を
3から2常任委員会と
します。また、併せて
名称及び所管事項の変
更をします。
この改正は、次回の
議会から適用されます。

【改正後の委員会構成】

名 称	定数	所 管 事 項
総務建設委員会	8人	企画総務部、経済建設部、 支所、会計課に関する事務 の調査、他の常任委員会の 所管に属さない事務の調査、 議案・請願等の審査
文教厚生委員会	7人	教育委員会、住民福祉部 に関する事務の調査、議案・ 請願等の審査

財産の処分

生涯学習センターで使用
していたマイクロスバスを更
新することに伴い、旧マイ
クロスバスについて小山高校
PTAから、クラブ活動等
における生徒の送迎に利用
したいとの要望があったた
め、無償で払い下げをする
ものです。これまでも、P
TAに払い下げをしていま
したが、現在のマイクロスバ
スが老朽化したため、今回
で3回目となります。

6月定例会の
お知らせ

6月定例会を次のように
開催する予定です。議会の
傍聴にお出かけください。

- ◆6月1日 町長から6月
議会への提出議案の説明
委員会付託
 - ◆6月7日 一般質問
 - ◆6月15日 常任委員会委
員長の審査結果報告、質
疑、採択
- ※変更になる場合があります。

選挙管理委員とその補充員を選挙

町の選挙管理委員とその補充員の任期満了に伴い、
後任者の選挙を実施し、次の方々が選ばれました。

〈選挙管理委員〉

- 岩田克人さん(坂下)
- 相 伸博さん(宿)
- 勝又征雄さん(用沢)
- 吉川 榮さん(上本町)

〈補充員〉

- 池谷浩一さん(湯船)
- 蓮江洪幸さん(向方)
- 鈴木治一さん(大胡田)
- 渡邊賢二さん(上本町)

議会の主な動き

◆1月	9日 議会広報特別委員会	9日 総務部議長会広報 委員研修会
	19日 議会広報特別委員会	20日 議会運営委員会
	23日 愛知県豊山町議会	27日 議会本会議
	来町	議会全員協議会
	24日 群馬県吉井町議会	28日 議会本会議
	来町	
	25日 議会運営委員会	◆3月
	議会全員協議会	2日 議会本会議
	臨時議会	5日 議会本会議
	26日 総務部議長会全議 員研修	7日 議会広報特別委員会
◆2月		8日 総務文教委員会
1～2日 全議員行政祝 祭(鈴鹿市)		9日 経済建設委員会
5日 経済建設委員会協 議会		住民福祉委員会
		住民福祉委員会協 議会
		16日 議会本会議
		議会全員協議会

常任委員会の報告



▲町道認定の道路を視察する経済建設委員

総務文教

予算の編成方針は 財政を考え堅実型で

◎「関係条例の整備に関する条例」「税外収入督促等に関する条例」「職員給与に関する条例の改正」

◎一般会計予算

19年度の予算の基本方針はとの質問に、国の三位一体改革以来、町の財政は厳しい状況にあります。この

化や教育、福祉、医療などの確立をどのように進めるのか、地産等の災害への対応として、町民の安全の確保などの課題を念頭において、予算編成に臨みました。

また、行政大綱を踏まえた改革をより一層推進すると共に、経費の削減に努め、将来世代に渡る負担を少な

くするため、最大限に町債を抑制し、残高を減らすなど積極的な中にも、より財政構造に配慮した堅実型の予算編成に心がけましたとの答弁がありました。

◎土地取得特別会計予算

各々審査の結果、全員賛成で可決しました。

◎国民健康保険特別会計予算

退職者被保険者の医療費は、被保険者の税と、支払基金からの交付金で処理するので町費の負担はない。滞納金は年ごとに1割増加して、収納率は、平均95・23%となっている。現在、国保運営状況は、黒字と赤字の境にあり、運用基金は2億7千万円ある。保険料の増加は今のところ行わない等の回答があり、質疑の結果、賛成多数で可決しました。

経済建設

県道山中湖小山線 旧道分が町道に移管

町道路線の認定で、平成19年度当初予算案3件の審議を行いました。

◎町道路線の認定

県道山中湖小山線の藤曲バイパス1.8kmが完成開通しました。

旧道分1.8kmを静岡県が管理していましたが、これを小山町に、道路敷、施設等のすべてを移管するものです。

◎一般会計予算

坂線の開設で、19年度は雑工事区間となるため、工事施工方法の確認。町営住宅

◎水道事業会計予算

一般会計予算で、林道事業の開設で、19年度は雑工事区間となるため、工事施工方法の確認。町営住宅

古久保北団地の水洗化工事完了後の施設管理の方法、家賃への影響。須定地区および桑木地区の地籍調査事業の箇所の確認等の審議が

住民福祉

子育て支援事業で 新たな動き

行われました。また、水道事業会計では、検針業務委託料と、電気事業委託料の委託業務内容の

確認等が審議されました。以上4議案は、審議の結果、全議案可決しました。

◎一般会計予算

質疑では、子育て支援事業に集中した委員の質問に対し、特別減税の引き下げの影響で保育料が増加にならないように規則の改正を行う。保育園の待機者はいない。早朝および延長保育、一時預り等を実施。保育料は国の基準の7割に設定している。

◎老人保険特別会計予算

小・中学生の入院に伴う医療費の助成は、医療保険で利用できる全ての病気に対して、食費代、治療費の個人負担の全額を助成するものです。

また子供たちに関する諸々の問題解決のため、次世代支援対策協議会を発足する等の回答があり、その他の質疑の結果、賛成多数で可決しました。

◎老人保険特別会計予算

小・中学生の入院に伴う医療費の助成は、医療保険で利用できる全ての病気に対して、食費代、治療費の個人負担の全額を助成するものです。

● 一般質問 ●

ました



▲各地区で管理されている町有賃借地（網山）



込山恒広

合併を見据えた町の課題と その対応は

県市町村合併推進協議会作業部会の第5回会合が、2月1日に開かれ、新たな合併の組み合わせとして、

御殿場市と小山町も管轄案案として決め、県の合併推進構想に反映させるとあります。

2月9日には、2市1町が、2市2町の合併の枠組で御殿場市、裾野市及び小山町の首長の間で合意し、特別市を目指すという将来東部地区の政令指定都市実

現の第一歩を踏み出した訳です。そこで、小山町としても無条件合併は是非とも避けたいので、合併前に最低限実施しておかなければなら

ない対応策について今から準備しておく必要があると考えられますので、以下3点について伺います。
1、町として、最低限実施しておかなければならない対応項目。
2、各地区管理の町有賃借地の扱い。
3、町有賃借地の管理はどうするか。

町長答弁

合併の機運の盛り上がりを見、 旧慣を尊重しながら対応します

1、市町村の合併によって私たちの「ふるさと小山」がどうなるのか、県境の町だけに心配するところですが、当面している課題としては、まずは須走の「道の駅」と、須走地区のまちづくりです。

そして、今後さらに少子高齢化の進む中で、地域が生き残れる施策として、企業誘致や観光産業等の振興と併せて、その拠点づくりのための道路等のインフラ整備です。

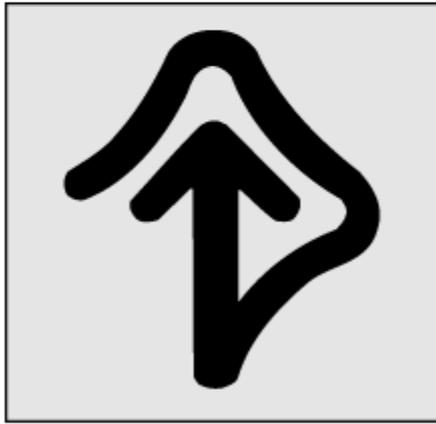
さらに地震対策への対応としての、防災計画の完全な確立です。その中で特に急ぎたいのは小・中学校の耐震化への対応であり、小学校の体育施設に続いて、今年是小山中学校の耐震調査を終えて、改築のための基本設計に入りたいと考えています。また、市街化区域は容易に宅地が提供されるような道路等の基盤整備が必要で

あると想っています。

2、3、各地区で管理している町有賃借地や高層の管理地などの、町有財産の継承については、今後、合併の機運の盛り上がりなどを考慮し、旧慣として旧町、各組合に委ねるといふ考え方も尊重しながら対応しなければならぬと考えています。

● 一般質問 ●

8人が質問にたち



耳マークのシンボルマーク



池谷 洋子

筆談に応じる「耳マーク」の 表示板の設置を提案します

1、「耳マーク」表示板の設置について

「耳マーク」は、聞こえないがために日常生活を送るうえで、人知れぬ苦勞をさしている難聴者、中途失聰者の方が発案した聴覚障害者のシンボルマークです。そこで役場の窓口や支所

小・中学校などの町立の施設、また、病院や銀行、郵便局などに、聴覚障害のある人に対し筆談に応じることを示す目印として「耳マーク」表示板を設置してはと考えますが、町の見解を伺います。

2、「CAPプログラム」の実施について

子どもが、いじめ、虐待などの暴力から自分を守る

方法を学ぶ、参加型学習プログラム「CAP」があります。この中では、まず子どもに自分たちが守らなければならぬ人権、権利というものをしっかり教え、それに対する具体的な対応を劇などを通して教えていくものです。

このプログラムの把握及び実施について所見を伺います。

町長答 教育長 各窓口に表示、町内民間施設にも理解を求めていきます

1、町では、NＴＴグループが実施している「電話お話し手帳」を活用・推進のために、障害者手帳を所持している聴覚障害者全員に送付していますが、今後は、耳やことばの不自由な人のために、役場本庁の総合窓口、各支所、文化会館、福祉課窓口、耳マークの表示とともに「電話お話し手帳」を置いて、聴覚障害者等が安心して窓口等をご利用いただけるよう支援をしていきたいと考えています。

また、町内の病院や郵便局、銀行などにも理解を求め、「耳マーク」等の標示について検討して頂くようお願いしていきます。

しかし、人権教育は学校だけでなく、家庭・学校・社会などのあらゆる場において推進する必要があります、社会教育の基礎の一つだと思えますので、幼稚園や小・中学校で行っている家庭教育学級の活動との関わりの中で、実施できるものかなど今後検討していきたいと考えています。

これら人権尊重の意識を高める教育は、学校の教育活動全体を通じて推進していきます。

● 一般質問 ●

小学校における英会話教育を 推進する考えは



岩田 治和

文部科学省による、公立小学校における英語活動の実施状況調査結果の報告では、英語を教えている割合は、全体の93・6%を占め、1年生から実施している小学校も全体の75%に達していることが公表されている。しかし、英語の授業を必須化するか否をめぐっては、中央教育審議会で検討が進められ、賛否の意見が出され、結論までには達していない状況である。

小学生の児童を持つ保護者の87%が将来的に、英語教育が義務化されることに賛成としている。近年、英語教育を必須化する自治体もみられ、すでに、英語は世界共通語としての位置づけがなされ、私立小学校では、授業に多く取り入れられている状況である。

また、小学生から英会話の塾に通わせる傾向が見受けられる。本町においても小学校において英会話を主体に英語教育の推進が必要と思われるが、所見を伺う。

教育長答弁

進めていきます 教育の方法を検討しながら

現在、小学校の英語教育は、その導入について、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の中の外国語専門部会で、英語の位置づけを教科とするか、領域とするか、または総合的な学習の中に位置づけるかなど諮議されており、未だ結論に至っていないのが現状です。

町では、平成14年から外国人英語指導助手を小学校に派遣して、学級担任とのチームティーチング形式によるALT授業として、特別活動や生活科また総合的な学習の時間の中で年間8、15時間程度英語教育に取り組んでいます。

小学校段階の英語教育は、会話技術や文法などの面での技術向上させることよりも、小学生の柔軟な適応能力を生かして、聞く力を育てながら英語になれ親しませること、あるいは外国の生活・文化に触れ、興味・関心を持たせること等、体験的な学習を通じて、英語は面白いという動機付けをすることで、将来的な実践的コミュニケーション能力を育成する業地をつくることを目指しています。

とが、大切なと考えています。今後小学校の英語教育に関する様々な方法を研究しながら、特別活動あるいは総合的な学習の時間の中で実施していきたいと考えています。



▲ALT授業（足柄小学校1年生）

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

「地域再生会議」の設立と 足柄地区再生の施策は

1、それぞれの地域には、
 ながい歴史と素晴らしい文
 化と伝統が存在しています。
 また多くの先人達が築いて
 きた特徴的・特有名事柄等、
 貴重な財産・遺産もありま
 す。そこで、調査研究を加
 え、地域づくりの基点とし
 て未来・将来に向けて、自
 分たちの住環境を整備し、
 自分たちで築いていくため
 に「地域再生会議」の組織
 を立ち上げ、新たな発想や
 施策を持ち地域活動を推進
 し、自らの生活地域を改善
 し発展させる。更に地域の
 将来像は自分たちで描き、
 有形無形を問わず、何かを
 後世に残し伝えていくこと
 は我々の責務です。民意主
 体で住民参加の地域づくり
 を発展させることは町全体
 の活力となることから、町
 の対応・判断について、
 2、東名バス停駐車場の恒
 常的な満車状況への、拡張
 の対応は
 3、旧新橋学園用地の活用
 用の構想と施策について



▲平日でも満車の東名足柄バスストップ前駐車場

町長答弁

地域と協働し推進して いきます

1、平成16年度に、足柄地
 区の皆さまにご協力いただ
 き足柄地区「観光交流空間
 づくり」による地域再生の
 ためのプログラムを策定し
 ました。その1点目として、
 足柄固有の歴史資源や施設
 を活かした「自然・歴史・
 文化経験による交流空間づ
 くり」、2点目として、グ
 リーンツーリズムなどの
 「農業体験による交流空間
 づくり」、3点目として、
 少年サッカー大会の開催な

どの「スポーツ交流を軸と
 した体験学習空間の形成」、
 4点目として、オープン
 ガーデンやイルミネーショ
 ンなどを「による」生活空間の
 活用」が定められました。
 これらを推進していくた
 めには地域の皆様との協働
 作業が必要で、「地域再生
 会議」の必要性は大いに認
 識しています。

2、東名足柄バスストップ
 の駐車場は、普通車30台と
 大型車1台が駐車でき、上
 下線が近距離にあるため、
 町内は勿論、御殿場市など
 からの利用者も多くありま
 す。このため、区内外へ駐
 車している車も見受けられ
 ますので、駐車場の拡張は
 必要と考えます。
 3、旧新橋学園跡地は、平
 成19年度に町単独財源で全
 額償還の予定で、今後町や
 足柄地区の活性化に資する
 方法を検討していきます。

● 一般質問 ●



● 芹沢 建一

● 小山町の素晴らしいところについて

小山町には、日本に誇れるような素晴らしいものも

町の誇れる素晴らしい財産を 活かしていく考えは

のが沢山である。

第1に富士山。日本を代表する山であり、世界中にその名が知られている。世界一美しい山である。

第2に金太郎と金時山。日本の子どもは金太郎を愛している。

第3に足柄峠。ヤマトタケルノミコトが西に帰ると

き、足柄峠から「あすまはや」と東の方を振り返って

言われた。それで足柄峠から東が「アツマ」である。

第4に富士山から湧き出している水である。純水であり世界に誇れる水である。これらを活かしていくのが町の努めであると思いますが、町のお考えを伺います。

町長答弁 全国や世界に情報を発信し 町の活性化に努めます

町は、世界に誇れる富士山や、歴史とロマンにあふれる金時山、富士スピードウェイ等の観光資源があり、これらを活かすことが重要です。

富士山には補助金を活用して、環境保全を目的とした自己完結型バイオトイレを配備し、今後は金時山でも関係機関において、バイオトイレ整備に取り組んでいきます。

また、自然環境と観光資源を有効活用し、地域の活性化を図るためのフィルムコミッション事業に取り組み

幸い、日本全国あるいは世界に向けて、これらの情報を発信できるチャンスが訪れようとしています。富士山を世界文化遺産としてユネスコへの登録申請、F1日本グランプリ開催等、

世界各国から注目を浴びる事例が進んでいます。このようなか、町では富士

み、町内の商工業者やNPO等の皆さんのご協力をいたしながら、町のPRと経済効果をもたらしていきます。

今年9月には富士スピードウェイにおいて、待望のF1日本グランプリが開催され、世界各国へ情報発信をします。

今後も小山町の素晴らしいことを積極的にPRすると共に、自然環境の保全と観光資源を活用し町の活性化に努めます。

今後も小山町の素晴らしいことを積極的にPRすると共に、自然環境の保全と観光資源を活用し町の活性化に努めます。



▲ 早春の足柄峠

● 一般質問 ●



加藤 宏和

小山高校の通学路の改良整備を望みます

1、小山高校生徒通学路の改良整備について
①足柄駅より、徒歩通学の町道約200m間の改良と夜間防犯灯の「三手すり」及び防犯灯の増設を望むが、

②県道78号線の歩道約500m間の防犯灯の増設を望むが所見を伺う。
③町道2145号線の防犯灯の設置についての経緯を伺う。



▲小山高校生徒の通学風景

2、「ポータル」について
①この施設の設置が計画されている地域「大塚団地」は平成5年度に実施された東富士演習場周辺開発計画策定調査に基づき、東富士

演習場地域協議会から抽出された報告書の趣旨にそって、土地の利用が考えられるべき地域と解釈される。当然と市1町の各自治体もこの計画構想に基づいて執

行をと考える。小山町の論理だけではすまめと考えるが見解を伺う。
②確認申請を得る3つの条件の中で地元自治会住民は意見くみ上げ手続が不十分で同意無効の声が増大しています。町長は町民に信を問う機会、選挙後に申請決定をよ言申するものだが見解を伺う。

町長答弁

事故防止を図るためにも早急に実施します

1、町道の整備は地元の要望を踏まえ関係者と協議して進めます。
小山高校の通学路も事故防止を図るためガードパイプ等の設置を早急に実施したいと考えます。

整ができずに現在に至っています。
小山高校の通学路は、地元でも大変に配慮をいただいていきます。いすれにしても、地元区と学校関係者と調整し防犯灯設置に向けて検討します。

ないと考えております。
これは、この団地が高根北郷所有財産管理組合固有の財産として認められているからです。

防犯灯は、区からの申請に基づき、設置費の一部を町で助成し、区管理の施設として設置されます。町道2145号線の防犯灯も、町で設置費の助成と、電柱の原材料支給をすることとしましたが、関係団体の調

2、「ポータル」計画地である東富士演習場の解放地は、高根北郷所有財産管理組合が所有しており、計画地以外の例をみてもと市1町の合意とか協議はなされておられません。必要は

また、当計画は民間企業が事業主体であり、計画が提起されて既に2年以上が経過し、これ以上粘着を延ばすことは行政の立場として許されないと考えます。反対の方が心配する方が一への対応をふまえた協議を行う予定です。

● 一般質問 ●

町内の道標や看板の総点検をすべきです



岩田 潤泉

1、ポトビアの下本町区
の同意は合法的になされた
か否か確かめるべきです。
昨年5月17日に岩園のポ
トビアへ相談に行き、2
日後には住民の同意が得ら
れたとしているが、こんな
短時間で民主的かつ本場の同
意が得られるのか。会議の
出席者は誰なのか。議事
録はあるのか。民意を重ん
じられる町長としてはこれ
らを調べるご用意はありま
すかどうか。行政訴訟
も心配されますので……。

2、城山経由不老山ルート
に係る2本の道標を抜いた
ことは器物損壊に当たるとし
て私を告訴したことについ
て。

平成7年1月8日にここ
に道標を設立してから現今
までルート整備が全くなざ
れず、多くのハイカーや町
民がここで迷っている。こ
れこそ犯罪ではありません
か。撤かれるべきは小山町
ではありませんか。観光立
町とはハイカーを大切にす
ること。町内の道標、看板
を総点検すべきです。

町長答弁

告訴中ですので回答を 控えさせていただきます

1、ポトビアの設置計画
に同意、あるいは同意しな
いという判断を行う要素と
して、議会の意思及び地元
の意向を尊重すると、これ
までの議会答弁等でも再三
申し上げてきました。その
点で須走下本町区の同意は
されており、議会の
意向にしましては1月25
日の議会全員協議会におい
て、遺憾のない、それぞれ
の議員の意見を聞かせてい
ただき、全体としては反対
の決議はされないという感
触を確認したところであり
ます。

下本町区の同意につきま
しては、須走地区の区長さ
んや、当該反対をされてい
たPTA等の方々と同間の
ポトビアを視察され、結
果として問題はないという
結論から、同意されたこと
聞いております。その点では
当時の状況や経過からみて



▲引き抜かれる前の中島金時公園上、城山ルート下山口の道標

正しい行動であったと思っ
ています。

万が一、仮にご指摘のよ
うな、下本町区の同意に至
る手続きに不備があるとい
うことであれば、最終的に
設置の確認を行う国土交通
省が、その同意の経緯等に
基づいて判断を行うと理解
しています。

2、ご質問の内容につきま
しては、現在告訴している
内容と関連し、御殿場警察
署が調査中であることから、
回答を控えさせていただきます。

● 一般質問 ●

「道の駅・ふじおやま」の評価と 問題点の検証は



米山 元

1、「道の駅・ふじおやま」と「あしがら温泉」について
あしがら温泉は、将来的に露天風呂などの施設・物品販売・指定管理者制度の問題・経営経費削減はできないか等、事業に対する評価と分析は。

道の駅・ふじおやまは、地域振興施設としてこれだけの波及効果があるのか。環境への取り組み、汚水・雨水排水の問題、施設としてのCO2、交通施設としての問題等の様々な効果の検証をすると共に、評価・分析を今後の運営にどう生かすのか。

2、須走地域振興事業について
道の駅・ふじおやまの評価分析を受けて、それをどう生かすのか。
住民と行政が一体となって協働し、企画立案・設計施工し、事後評価まで責任を持った対応をする「室」の設置は。

町長答弁

今年度に、駐車台数の拡大が 予定されています

1、「あしがら温泉」は、町の財政状況を考慮しつつ、露天風呂や軽食コーナーを含めた物品販売の拡張を考えています。
経費削減の削減は、利用者のサービス低下にならない範囲で抑制に努め、関係者による調整会議を通じて、事業の評価・分析をしています。

「道の駅・ふじおやま」は、オープンから2年3か月が経過し、合計12万人に利用していただいております。レストラン及び農産物出荷組合も当初の売上目標を達成しています。

また、環境面でも特に問題はなく、平成19年度において駐車台数の拡大が予定されています。

2、須走まちづくり整備事業につきましては、須走まちづくり協議会（仮称）を発足させ、広く地域の皆さん

の意見を伺っていきたくと考えています。
また、19年度に須走「道の駅」の実施設設計を行います。道の駅・ふじおやまの評価・分析を踏まえ、取り組みます。

「室」の設置は、職員定数のこともあり、対応することは困難ですが、須走支所の職員にも積極的にこの事業に係わるようにさせるなど、地域の声を反映できるように努めます。



▲平日の「道の駅・ふじおやま」

行政視察報告

F1対策について、**鈴鹿市を視察研修してきました**

平成19年2月1日、2日、三重県鈴鹿市にて「F1開催における、鈴鹿市と鈴鹿サーキットの関わり」について視察研修を行いました。鈴鹿市は人口約20万人で、産業・経済・文化・市民生活など調和のとれた発展を続け、何よりもF1

平成19年2月1日、2日、三重県鈴鹿市にて「F1開催における、鈴鹿市と鈴鹿サーキットの関わり」について視察研修を行いました。鈴鹿市は人口約20万人で、産業・経済・文化・市民生活など調和のとれた発展を続け、何よりもF1

立者の本田宗一郎氏には、「鈴鹿の道は世界に通ず」という理念の下、「くるまの町、モータースポーツの町」として世界に「鈴鹿」



▲鈴鹿市役所で説明を聞く議員

また、本田技研工業創設者の本田宗一郎氏には、「鈴鹿の道は世界に通ず」という理念の下、「くるまの町、モータースポーツの町」として世界に「鈴鹿」

の名を広めるなど、国際化の推進に尽くした功績により名誉市民の称号が贈られています。

さて、F1開催におけるメリットは、50億円以上の経済効果と、鈴鹿市の地名が世界に知られたこと、メリットは、交通渋滞・ゴミ問題の心配だったが、情報機の点検の時間調整や、パーク&ライド方式を採用し、遠地からバス・タクシーで行ったこと。

また、「ゴミ問題」については、サーキットで集中的に対応、地域ボランティアの協力によりマナーの向上が見られたことでした。

協力体制については、市民は交通案内、通訳ボランティアを、観光協会は駅前に歓迎機新着や花プランターの設置など、行政は鈴鹿地区環境連絡協議会を組織し、地区の代表「三間」などを協議、また、鈴鹿

の推進に尽くした功績により名誉市民の称号が贈られています。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で会議録を閲覧できますので、ご郵送ください。3月定例会の会議録は、5月下旬から閲覧できる予定です。過去の議会だよりをご覧になりたい方は、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

表紙「夜泣き石」の言い伝え

「夜、石の上に三三カラ一升を供え、お祈りすると、子供の夜泣きが治まった」という話が残っていて、戦前の参詣者は、神奈川・長野・山梨県下などからもあつたそうです。石は、高さ1m、幅が2mほどありましたが、台風などの大雨で川の中に深く埋もれていました。その後、昭和46年の立沢川護岸工事の際、地元の人たちによって、石は引き上げられました。その時、石の下からは多くの古銭が見つかったそうです。

編集後記

いよいよ今日、現メンバーによる編集委員会を閉じます。2年間計8回の発行でした。編集会議では、提出された原稿が本会議での発言との相違がないか、普井の原稿に過去の普井との相違も調べ、時には会議の録音テープを聞くこともありました。委員会メンバーは、議員経験が浅い委員でしたので、編集会議での討論

は多めに勉強になりました。つたない「たより」ではございましたが、ご愛読していただきました町民の皆さまに感謝いたします。

表紙に橋の絵を描いてくださいました大賀先生、ありがとうございました。

【真田 勝記】

- 〈編集委員〉
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 真田 勝 |
| 副委員長 | 岩田 治和 |
| 委員 | 池谷 洋子 |
| 委員 | 廣嶋 邦彦 |
| 委員 | 湯山 鉄夫 |
| 委員 | 岩田 潤泉 |

● 一般質問 ●



小野 孝 浩

町民いこいの家の今後の運営について

町民いこいの場として、平成16年11月に「あしがら温泉」がオープンをした。町はこの施設の運営目標値

を当初、利用人員6万人、収入予定額を3千万円と定め運営してきたが、平成17年度の実績では利用者は9

千29人の増、収入では約300万円の収益となった。さらに今年6月に10万人を達成し、その後も順調に増加推移をしており、その実績向上が期待される。

また、町内の温泉2施設

の利用者を含めると平成17年度実績で約13万人となり、平成15年度の約10万人から年々急増している。今日、全国での温泉ブームが過熱状況の中、当町も高齢者の健康、体力増進・

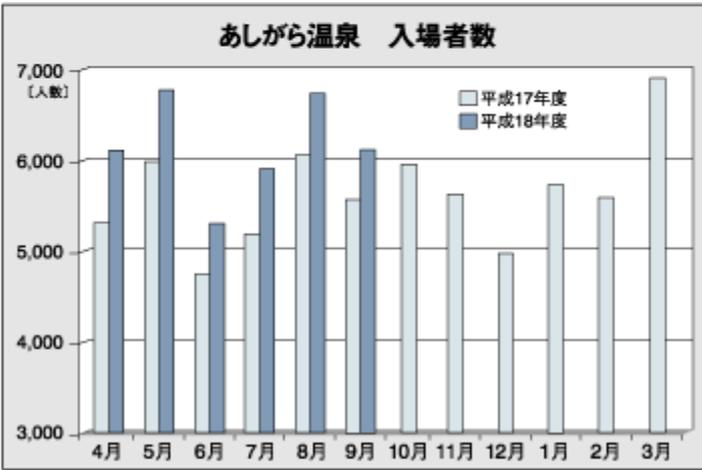
町長答弁 補助事業で建設したので増改築は難しい

町民いこいの家「あしがら温泉」は平成17年1月15日の開館以来1年7か月を迎えました。平成18年8月27日現在の利用者は11万6千906人であり、多くの皆さんに利用していただき、その運営は順調に推移しています。

町民いこいの家を「あしがら温泉」は平成17年1月15日の開館以来1年7か月を迎えました。平成18年8月27日現在の利用者は11万6千906人であり、多くの皆さんに利用していただき、その運営は順調に推移しています。

設された施設であり、今後、レストランの新設及び露天風呂の増設等、増改築を実施する場合は「補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律」の中で、補助金の返還を求められる場合など、制約・協議の必要性等、現段階では難しい事と考えられています。

■その他の質問
富士山五合目の駐車場について



海外視察
研修報告

ミシシオン市姉妹都市提携10周年
記念式典に出席して



▲「オヤマ・フレンドシップ・ガーデン」にて

今年、ミシシオン市と姉妹都市提携を始めて、10周年の記念すべき年、記念式典出席のため、議会からも4名が派遣された。

潘対策の一案だと感じた。カナダという国は、車が多いへん多い国なのに、自国の車産業が発達していないことに、意外な感じを受けた。ミシシオン市に近づくと、富士山に似たマウン

ト・ペーカーという山が遠くに見える。この山はアメリカ側にある山だと言う。普段国境というものを意識していない我々日本人には不思議な世界でした。

市役所に到着すると、ホームステイのホストの皆さんに迎えていただいた。特にホームステイをする皆さんは到着するなり旧交を温め合っていたのが印象的だった。この光景は、市民レベルの交流が定

着してきている表れかと感じる一幕でもあった。これからは一部の人間だけの交流から、もっと多くの人たちの交流へと発展させていきたいとも感じた一時であった。

2002年に姉妹都市友好のため植樹された桜の木がしっかりと根付いていた。アテベ市長さんは「桜の花が咲くと、市民は冬から春への訪れや姉妹都市の小山町のことを思いを寄せる」との関係に思いを寄せることとの挨拶をされ、長田町長と共に新しい桜の苗を植樹された。

引き続き、「オヤマ・フレンドシップ・ガーデン」と命名されたカナダ式日本庭園のオープンセレモニーが用意されていた。アテベ市長は「この公園は非常に大切で、平和とハーモニーを強調し、健全な関係を保つために造った。また

自分はケニアで幼少時代を過ごし、土地と種の奇跡に特別な感情をもっている。私たち2つの市・町がいつまでも育って、花咲くよう願うものである」と挨拶をされた。

夕方、市長・町長・議員の話し合いがあり、1時間半にわたる話し合いの中に、カナダと日本のシステムの違いを各所に垣間見た。市職員は全員で23人、本所には80人、市では消防署、警察を受け持ち、州では病院、学校等を受け持っている。

人口は3万4千人で、毎年2%の伸びがあり、カナダの中でも一番の伸びを示し、バンクーバーのベッドタウンとして発展しているという。その理由としては、

①通勤電車の本数も充実。
②伍やビンのリサイクル意識の高揚。
③自然環境を大切にしながら街づくり。
④公害のない会社の誘致。など、参加した甲斐があった視察研修でした。

【藤田邦彦記】

編集後記

番が回り本欄を書く苦しい羽目に陥る。随想なら何とかするが、当委員会の公約数としての作文は苦手で、連日連夜、四苦八苦。胃が痛くなる。

◆むだな事業の削減、費用対効果が求められる時、議会だよりの発行に昨年度、2百8万8千余円が支出された。この費用に対する効果はどうだろうか。後世、議会史料としての価値はどうだろうか。もちろん考える。

◆編集で問題になった事は、一人で8件の質問を出す、限られた行数に答弁が収められない。質問と答弁は2件として、その他は質問事項のみを記載し答弁は載せないとする。